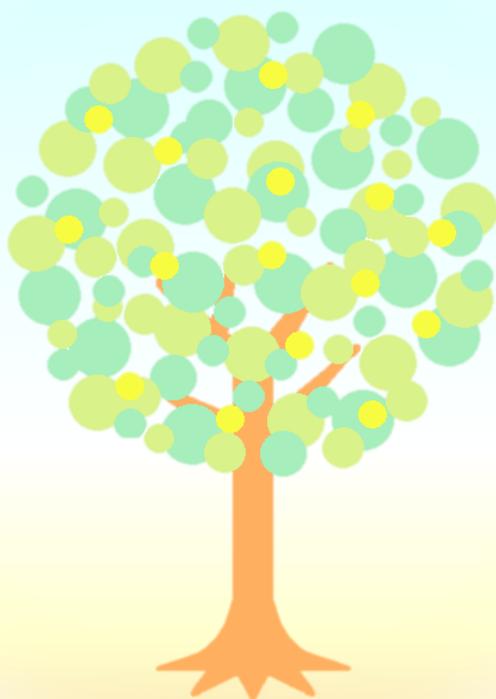


エコアクション21

# 環境経営レポート



〔第30期〕 令和元年9月1日～令和2年8月31日

第7版作成日 令和3年1月13日

株式会社藤浪造園

# 目 次

- P.1 環境経営方針
- P.2 組織の概要
- P.3 実施体制図
- P.4 環境経営目標
- P.5 環境経営計画
- P.6 取組内容
- P.8 環境経営目標の実績及び評価
- P.9 環境経営計画の取組結果及び評価
- P.10 次年度の環境経営目標及び環境経営計画
- P.11 環境関連法規等
- P.12 代表者による評価



# 環境経営方針

## 環境理念

株式会社藤浪造園は、自然の循環を尊重した健全な循環型社会の構築を目指し、緑地整備をはじめとする環境整備事業を通じて地域社会の緑化の推進に寄与し、環境に配慮した経営に努め、積極的に環境保全に取り組みます。

## 行動指針

- 環境負荷の低減のため、次の6つを重点的に取り組みます。
  - ・ 電気の使用量削減
  - ・ 化石燃料（軽油・ガソリン等）の使用量削減
  - ・ 廃棄物排出量の削減と適正処理
  - ・ 水使用量の削減
  - ・ 化学物質を含有する農薬使用量の削減
  - ・ 環境負荷の低減に資する工法や作業の推進
- 緑化推進、環境保全のためのボランティア活動を行います。
- 植物の魅力、環境への取り組みを発信します。
- 人材育成、職場環境改善に取り組みます。
- 環境関連法規制等を遵守します。
- 環境経営の継続的改善を図ります。

環境理念及び行動指針を全社員に周知させ、一丸となって環境経営を推進します。

制定 平成25年 9月 1日

改定 令和元年 9月 1日

株式会社藤浪造園  
代表取締役 藤浪 義之

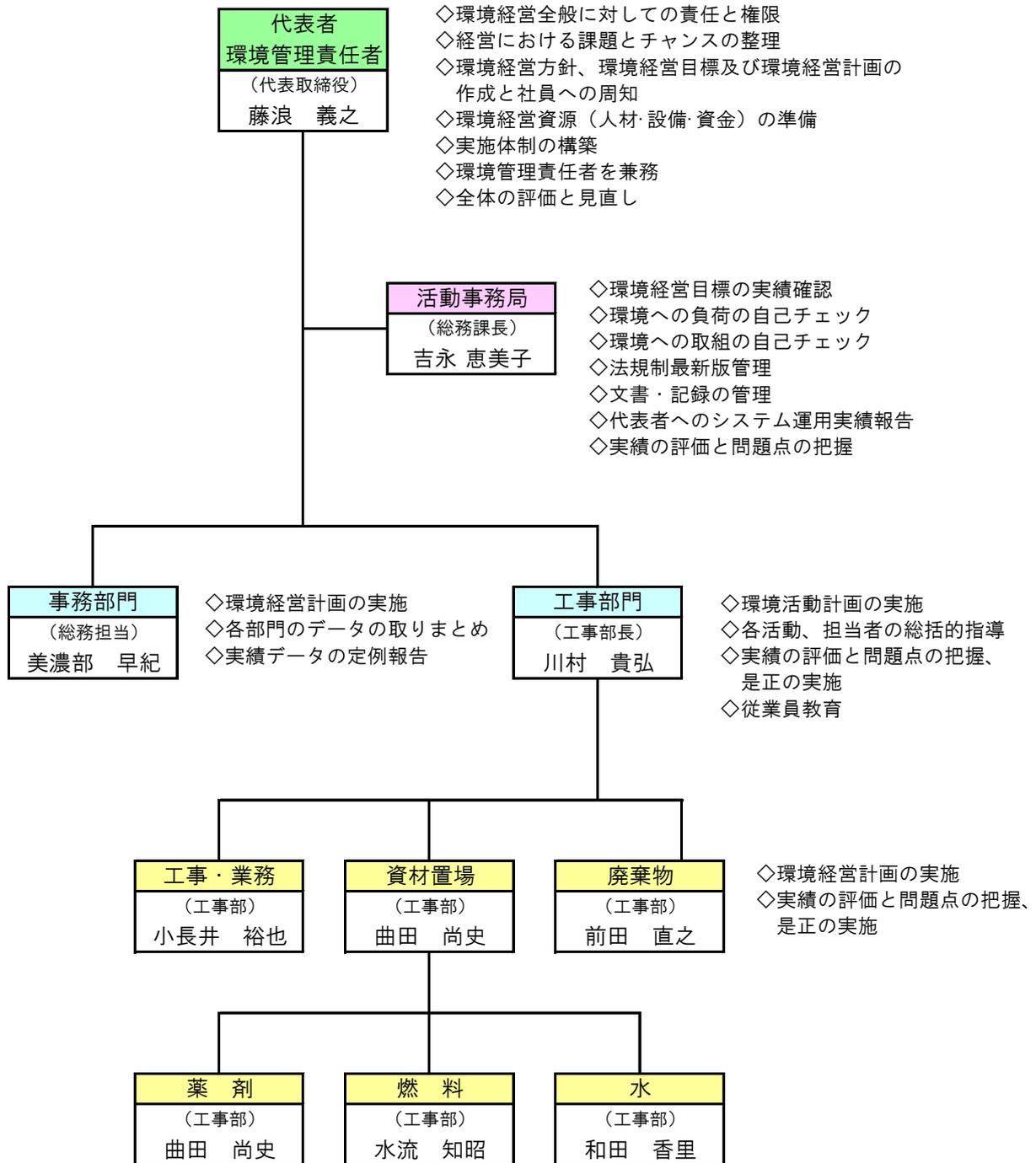


# 組織の概要

- 事業者名 株式会社藤浪造園
- 代表者 代表取締役 藤浪 義之
- 所在地 本 社 静岡県静岡市葵区北二丁目10番20号  
有永置場 静岡県静岡市葵区有永町8番1号
- 連絡先 TEL 054-245-9870  
FAX 054-245-9918  
E-mail info@fujinami-zoen.co.jp
- 事業内容 造園工事、土木工事、とび・土工工事、造園維持管理  
産業廃棄物の収集運搬
- 従業員数 15 人
- 環境管理責任者 代表取締役 藤浪 義之
- 環境管理担当者 総務課長 吉永 恵美子
- 許可・登録
  - 建設業許可  
許可番号：静岡県知事許可（般-28）第014970号  
許可期限：平成28年10月11日～平成33年10月10日  
許可業種：土木、とび・土工、造園
  - 静岡県産業廃棄物収集運搬許可  
許可番号：第02201117551号  
許可期限：平成29年8月15日～平成34年8月14日  
許可品目：廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除く)、金属くず、  
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有廃棄物を除く)、  
がれき類(石綿含有廃棄物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず  
以上7品目  
許可車両：3t移動式クレーン、3tダンプ、2tダンプ、塵芥車 計4台
  - エコアクション21認証・登録  
認証登録番号：0010037  
認証登録日：平成26年5月20日  
更新・登録日：平成30年5月20日  
有効期限：平成32年5月19日
- 事業規模 創業 昭和45年2月1日  
設立 平成2年9月5日 法人成  
床面積 事務所 65㎡、有永置場 656㎡  
資本金 10,000千円  
事業年度 9月1日～8月31日  
保有車両 3t移動式クレーン、3tダンプ、2tダンプ、塵芥車、トラック、バン2台、軽トラック3台  
計9台

	第28期 H29.9～H30.8	第29期 H30.9～R1.8	第30期 R1.9～R2.8
売上高	117,414千円	135,030千円	138,561千円
従業員数	16 人	15 人	15 人
産業廃棄物収集運搬量	29.07 t	47.31 t	74.46 t

# 実施体制図



全組織・全活動を対象とする

# 環境経営目標

	基準値	短期目標		中間目標					
		第30期 R1.9~R2.8	第31期 R2.9~R3.8	第32期 R3.9~R4.8	第33期 R4.9~R5.8				
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	42,754.20	40,616.49		40,616.49	40,188.95	40,188.95			
※排出係数 基準値(26期)は0.518kg-CO <sub>2</sub> /kWh(H23中部電力 実) 30期から0.452kg-CO <sub>2</sub> /kWh(H30中部電力ミライズ 調)	第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%
電力	事務所使用量 (kWh)	9,033	8,581		8,581	8,491	8,491		
	第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%
	資材置場使用量 (kWh)	1,477	1,403		1,403	1,388	1,388		
第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%	
原単位 (kWh/100万円)	90.60	86.07		86.07	85.16	85.16			
	第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%
燃料	ガソリン使用量 (L)	5,617.58	5,336.70		5,336.70	5,280.53	5,280.53		
	第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%
	軽油使用量 (L)	9,213.06	8,752.41		8,752.41	8,660.28	8,660.28		
第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%	
原単位 (L/100万円)	127.85	121.46		121.46	120.18	120.18			
	第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%
灯油使用量 (L)	36.00	36.00		36.00	36.00	36.00			
	第29期実績	増減	±0%	増減	±0%	増減	±0%	増減	±0%
水使用量 (m <sup>3</sup> )	43.4	42.5		42.1	41.7	41.2			
	第29期実績	増減	-2%	増減	-3%	増減	-4%	増減	-5%
廃棄物	一般廃棄物リサイクル率 (%)	—	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%		
	産業廃棄物リサイクル率 (%)	—	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%		
化学物質 (農薬) 使用量 (kg)	2.461	2.338		2.338	2.313	2.313			
	第26期実績	増減	-5%	増減	-5%	増減	-6%	増減	-6%
サービス	環境に優しい工法の提案 (件)	12	12		12	12	12		
	—	増減	—	増減	—	増減	—	増減	—
病虫害防除の助言 (件)	12	12		12	12	12			
	—	増減	—	増減	—	増減	—	増減	—
地域貢献活動 (件)	6	6		6	6	6			
	—	増減	—	増減	—	増減	—	増減	—

電力及び燃料は、使用量若しくは原単位のどちらかが目標達成できればよいとする

水使用量は、基準としていた使用量が現在の使用状況に合っていないため、第30期より第29期使用量を基準値とする

化学物質使用量は、民間管理（個人邸の庭園管理、民間企業・民間施設の緑地管理等）に使用したものだけを対象とする

廃棄物収集運搬業者として排出業者への分別指導活動は、目標設定せず活動のみとする

# 環境経営計画

活動内容	実施時期		担当者
<b>電力</b>			
エアコンは室内温度が夏季28℃/冬季20℃になるよう設定	常時	11～3月、6～9月 呼びかけ	美濃部
定期的なエアコンフィルターの清掃		11～3月、6～9月 月初	
クールビズ、ウォームビズの心掛け	常時	11～3月、6～9月 呼びかけ	
人がいない場所の消灯の徹底	常時		曲田/美濃部
LED電灯への切り替え	随時		美濃部
毎週水曜日はノ残業、その他の曜日原則21時まで	常時	4月はノ残業月間	小長井
<b>燃料（ガソリン・軽油）</b>			
エコドライブの心掛け	常時	繁忙期は注意喚起	水流
車両移動時は不要な荷物をおろす	常時		
最短交通ルートの事前確認	常時	繁忙期は注意喚起	
車両、重機の適正な点検、整備	常時		
近距離移動時の自転車活用	常時		美濃部
予定を共有し、車での外出回数の削減	常時		
<b>灯油</b>			
灯油ストーブは早めに消火し、余熱の有効活用	常時		水流
<b>水</b>			
節水の励行	常時	年度末は特に注意喚起	遠藤
道具類の洗浄、プランターの水やりに雨水利用	常時		
<b>一般廃棄物</b>			
コピー用紙の両面使用	常時		美濃部
文書のデータ保管	常時		
缶、ビン、雑紙、ダンボール、ペットボトルの分別徹底	常時		
エコキャップ運動への参加	常時		
<b>産業廃棄物</b>			
分別の徹底	常時		前田
廃棄物はなるべく小さく潰してから廃棄	常時		
manifests の交付・運用・保管の徹底	常時		
排出業者への分別指導（収集運搬業者として）	随時		
<b>化学物質（農薬）</b>			
適正な使用量の確認、過剰散布の禁止	常時		曲田
適正な使用、保管の徹底	常時		
<b>サービス</b>			
環境に優しい工法・作業の提案	随時		川村
薬剤散布後の注意点、害虫の捕殺について助言	随時		
<b>ボランティア</b>			
ボランティアへの参加	随時		川村
<b>その他</b>			
【労働能率向上】軽ダンプ導入		R1.9月	吉永
【人材育成】人材育成方針、プランの策定		R1.9月	吉永
【人材育成】実地訓練の実施		R2.4月（予定）	
【企業の社会的な責任】SDGsへの対応		R1.9～11月	吉永

# 取組内容①

	電 気	燃 料	廃棄物	農 業	その他環境活動
	・エアコンフィルター ・簡易点検	・車両・重機整備 ・灯油ストンプ整備	・収集運搬許可 ・マニフェスト報告	・緊急事態訓練	・ボランティア・地域貢献活動→☺ ・教育訓練(回覧・緊急事態)→📖 ・その他の活動
R1 9月	フィルター清掃 (9/2)	軽タンク購入(9/11)			・防災訓練(市造協)(9/3) ・芝生管理講座(川・前)(9/12) ☺ 麻機遊水地1工区ハス池除草(9/14) ・安全大会(市造協)(9/26)
10月	フィルター清掃 (10/7) 自販機等点検 (10/8,9)				・伐木等特別教育補講(川・曲・前・水)(10/8) ☺ サクラタテ観察会準備(10/10) ・フルハネス特別教育(和)(10/31) ・芝生管理講座(曲・水・遠)(10/31)
11月	エアコン簡易点検 (11/5) 自販機撤去 (11/15)	ホンゴ車検(11/11) 軽トラ5598点検(11/15) 2tタンク車検(11/19) 3tタンク車検(11/25)			・街路樹剪定士講習(和)(11/12)
12月	フィルター清掃 (12/2)	キャラバン車検(12/12) ユニック整備(12/21) 2tタンク整備(12/23)			📖 前期事務局評価回覧(12/18) 📖 前期実績グラフ掲示(12/18)
R2 1月	フィルター清掃 (1/14)	ライトエスバン整備(1/24)			📖 前期環境活動レポート回覧(1/6) ・街路樹剪定士実地試験(和)(1/20) ・知識技能講習・インターシッパ(県造協)(1/31)
2月	フィルター清掃 (2/17) エアコン簡易点検 (2/17)	ハッカー車車検(2/18) キャラバン整備(2/22) ユニック車検(2/27)		農業管理指導士 研修(社・川・曲)	
3月	フィルター清掃 (3/16)				・職長安全衛生責任者能力向上教育 (曲・長)(3/16)
4月	フィルター清掃 (4/6) ノ残業月間 (4/1~30)	ライトエスバン整備(4/13)			📖 定例会・社員教育(4/1) ・職業能力評価(4/10~)
5月	エアコン簡易点検 (5/11)	キャラバン整備(5/2) 軽トラ2941点検(5/15)	委託先現地確認 (5/22)	農業保管庫整理 (5/1) 緊急事態訓練 (5/1)	📖 定例会・社員教育(5/1) 📖 緊急事態訓練(5/1) ☺ あさはた緑地清掃活動(5/1) 📖 回覧(更新審査結果)(5/8) ◎ EA21更新審査(5/20) ☺ 麻機遊水地4工区湿地攪乱作業(5/29)
6月		軽トラ5598整備(6/12) ハッカー車整備(6/24)	マニフェスト状況・ 収集運搬報告 (静岡県)(6/17)		・熱中症予防研修(遠)(6/2) 📖 定例会(更新審査結果報告)(6/4) ・小型移動式クレーン技能講習(水)(6/22~24)
7月	フィルター清掃 (7/6)	ライトエス車検(7/21)			☺ 馬走用水地生態調査(7/23) ・元請安全大会(7/27)
8月	フィルター清掃 (8/3) エアコン簡易点検 (8/3)	キャラバン点検(8/11) ライトエスバン車検(8/17)			☺ 夜の昆虫観察会(8/22) ◎ 環境関連法規の確認(8/31)

## 取組内容②



当社は、SDGs（持続可能な開発目標）の取組みを進めています。

環境負荷の低減のための取組みの他、従業員の能力向上、働きやすい職場づくり、女性活躍推進などにも力を入れています。私たちの仕事を通じて、SDGsに貢献します。

### ボランティア活動



今年はコロナ禍でクリーン作戦等のボランティア活動の中止が相次いだため、比較的小規模なボランティア活動を行いました。特に麻機遊水地は当社から近く、関わりも深いため、積極的に取り組んできました。これからも私たちにできることを模索しながら、地域社会や自然環境に貢献していきたいです。



社員全員で、麻機遊水地の清掃活動を行いました。



麻機遊水地の攪乱作業のお手伝いをしました。



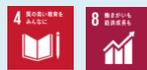
麻機遊水地のサクラタデ観察会の会場設営のお手伝いをしました。



馬走の用水地の生態調査のお手伝いをしました。



### 竹垣施工実習



自社訓練として、竹垣施工の実習を行いました。ベテラン社員から指導を受け、現場社員の全員で行いました。竹垣の仕事はあまり多くありませんが、伝統的な技法を習得し、継承していくことを大切にしています。

### インターンシップ受入れ



静岡農業高校の生徒のインターンシップを受け入れました。測量、剪定、図面作成など、いろいろな仕事を体験していただきました。授業で習うのとは一味違った体験ができたことと思います。

### 緊急事態対応訓練

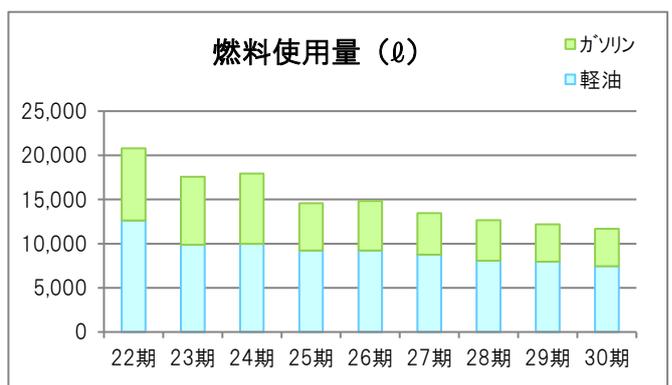
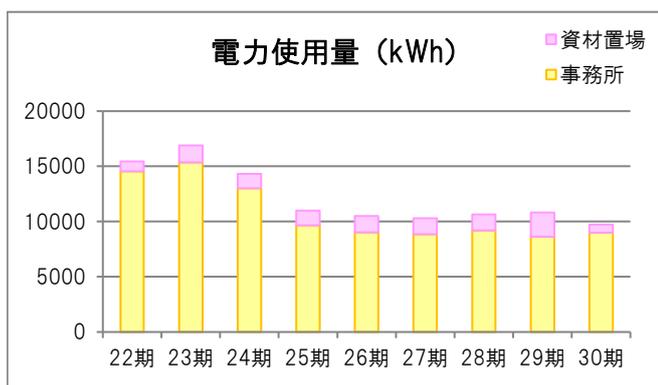


農薬や危険物が流出した際の対応の確認や、火災発生時の初期消火訓練を行いました。今までこのような事故が起きたことはありませんが、定期的な訓練を行い、事故発生時の対応確認と共に、事故の起こらない環境づくりにも全員で取り組んでいきます。



# 環境経営目標の実績及び評価

		第30期 (R1.9月～R2.8月)			
		目標	実績	評価	
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )		40,616.49	33,409.31	○ 電気及び燃料の使用量を大幅に削減できたため、今期も二酸化炭素排出量を削減することができた。	
※排出係数 基準値(26期)は0.518kg-CO <sub>2</sub> /kWh(H23中部電力 実) 30期から0.452kg-CO <sub>2</sub> /kWh(H30中部電力ミライズ 調)		増減 -5%	増減 -21.9%		○
電力	事務所使用量 (kWh)	8,581	8,990	○ 事務所使用量は目標達成できなかったが、資材置場使用量と原単位は目標達成	
	資材置場使用量 (kWh)	1,403	734		
	原単位 (kWh/100万円)	86.07	70.46		
		増減 -5%	増減 -0.5%	△	
		増減 -5%	増減 -50.3%	○	
		増減 -5%	増減 -22.2%	○	
燃料	ガソリン使用量 (L)	5,336.70	4,201.46	○ ガソリン使用量、軽油使用量、原単位のいずれも目標達成	
	軽油使用量 (L)	8,752.41	7,467.70		
	原単位 (L/100万円)	121.46	84.55		
		増減 -5%	増減 -25.2%	○	
		増減 -5%	増減 -18.9%	○	
		増減 -5%	増減 -33.9%	○	
灯油使用量 (L)		36.00	0.00	○ 資材置場での作業終了後すぐに事務所に帰るようにしたため、灯油ストーブを使用することが全くなかった。	
		増減 ±0%	増減 -100.0%		○
水使用量 (m <sup>3</sup> )		42.5	41.7	○ 漏水の発生で一時的に使用量が増えたが、他の期間の使用量を抑えられたため目標を達成することができた。	
		増減 -2%	増減 -3.9%		○
廃棄物	一般廃棄物	排出量 (t) ※参考	100.0%	0.429	○ 前年度の事務所改築の際にかなりのごみを捨てたので、今年は例年に比べ少なかった。
		リサイクル率 (%)	100.0%	100.0%	
産業廃棄物	排出量 (t) ※参考	100.0%	94.500	○ リサイクルできなかった混廃は、工事業務に関連する地域貢献活動から発生しているため、評価は「○」とする。	
		リサイクル率 (%)	100.0%		99.6%
化学物質 (農薬) 使用量 (kg)		2,338	1,200	○ 今年も害虫の発生が少なかったため、使用量を抑えることができた。	
		増減 -5%	増減 -51.2%		○
サービス	環境に優しい工法の提案 (件)	12	12	○ 目標を達成することができた。	
		増減 —	増減 ±0		○
地域貢献活動 (件)	病害虫防除の助言 (件)	12	83	○ 目標を達成することができた。	
		増減 —	増減 +71		○
地域貢献活動 (件)		6	6	○ 天候や新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が多かったが、目標を達成することができた。	
		増減 —	増減 ±0		○



# 環境経営計画の取組結果及び評価

環境経営計画	結果	評価
<b>電力</b>		
エアコンは室内温度が夏季28℃/冬季20℃になるよう設定	○	新型コロナウイルス感染症対策のため、こまめな換気、デスクの分散化を行ったことでエアコンの稼働台数、稼働時間が増加したが、その分各自がクールビズやウォームビズ、小まめな消灯を意識することができた。資材置場の自動販売機を撤去し使用量が大幅に削減できた。節電だけでなくハード面の見直しも検討していきたい。
定期的なエアコンフィルターの清掃	○	
クールビズ、ウォームビズの心掛け	○	
人がいない場所の消灯の徹底	○	
LED電灯への切り替え	○	
毎週水曜日はノ残業、その他の曜日原則21時まで	○	
<b>燃料（ガソリン・軽油）</b>		
エコドライブの心掛け	○	数値目標は継続的に達成できているが、取組み内容はマンネリ化してしまっている。数値目標が達成できているのは、単に近隣の現場が多く移動距離が少なくなっているからと推測できる。今期は移動車を増やしたことでより効率的な燃料使用が求められる。仕事の効率化も踏まえて根本的な取組み改善をしていく。
車両移動時は不要な荷物をおろす	○	
最短交通ルートの事前確認	○	
車両、重機の適正な点検、整備	○	
近距離移動時の自転車活用	○	
予定を共有し、車での外出回数の削減	○	
<b>灯油</b>		
灯油ストーブは早めに消火し、余熱の有効活用	○	適切に取り組むことができた。
<b>水</b>		
節水の励行	○	漏水の早期発見のため定期的にメーターの動きに異常がないか確認することにした。
道具類の洗浄、プランターの水やりに雨水利用	○	
<b>一般廃棄物</b>		
コピー用紙の両面使用	○	適切に取り組むことができた。文書のデータ化はまだ取組み拡大の余地が大きいので、社内外のやりとり効率化をふまえて検討していく。
文書のデータ保管	○	
缶、ビン、雑紙、ダンボール、ペットボトルの分別徹底	○	
エコキャップ運動への参加	○	
<b>産業廃棄物</b>		
分別の徹底	○	適切に取り組むことができた。長期的には木くずをチップ化する等、当社が主体的に行える資源活用についても検討していきたい。
廃棄物はなるべく小さく潰してから廃棄	○	
manifests の交付・運用・保管の徹底	○	
排出業者への分別指導（収集運搬業者として）	○	
<b>化学物質（農薬）</b>		
適正な使用量の確認、過剰散布の禁止	○	適切に取り組むことができた。
適正な使用、保管の徹底	○	
<b>サービス</b>		
環境に優しい工法・作業の提案	○	適切に取り組むことができた。
薬剤散布後の注意点、害虫の捕殺について助言	○	
<b>ボランティア</b>		
ボランティアへの参加	○	適切に取り組むことができた。
<b>その他</b>		
【労働能率向上】軽ダンプ導入	○	適切に取り組むことができた。人材育成は、エコアクション21やSDGsに関する教育訓練も今後定期的に行っていきたい。また、生産性向上、省エネにつながる設備の導入も検討していく。
【人材育成】人材育成方針、プランの策定	○	
【人材育成】実地訓練の実施	○	
【企業の社会的な責任】SDGsへの対応	○	

# 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

		第31期 (R2.9~R3.8)			
		環境経営目標	環境経営計画	実施時期	担当
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )		40,616.49			
		第26期より-5%			
電力	事務所使用量 (kWh)	8,581	エアコンの適切な使用、清掃	夏季・冬季	美濃部
		第26期より-5%	こまめな消灯、LED電灯への切り替え	常時	美/曲
	資材置場使用量 (kWh)	1,403	毎週水曜日はノー残業デー	常時	小長井
		第26期より-5%			
原単位 (kWh/100万円)	86.07				
	第26期より-5%				
燃料	ガソリン使用量 (L)	5,336.70	エコドライブの心掛け	常時	水流
		第26期より-5%	効率的な移動方法の確認 (荷物・ルート)	常時	水流
	軽油使用量 (L)	8,752.41	車両、重機の適正な点検、整備	随時	水流
		第26期より-5%	ICT活用の推進による打合せ移動の削減	1月~	遠藤
原単位 (L/100万円)	121.46				
	第26期より-5%				
灯油使用量 (L)		36.00	灯油ストーブの適切な使用	冬季	水流
		第29期より±0			
水使用量 (m <sup>3</sup> )		42.1	節水の心掛け	常時	和田
		第29期より-3%	雨水の活用	常時	和田
			定期的なメーター動作の確認	毎月	和田
廃棄物	一般廃棄物リサイクル率 (%)	100.0%	3Rの推進	常時	美/前
			★社内文書のデータ化	5月~	美濃部
	産業廃棄物リサイクル率 (%)	100.0%	分別の徹底	常時	前田
			マニフェストの適正な運用管理	常時	前/美
刈草、木くずの有効活用方法の検討			5月~	吉永	
			排出業者への分別指導 (収集運搬業者として)	随時	前田
化学物質 (農薬) 使用量 (kg)		2.338	過剰散布の禁止	常時	曲田
		第26期より-5%	適正な保管の徹底	常時	曲田
サービス	環境に配慮した工法の提案 (件)		環境に配慮した工法の提案	随時	川村
	緑化の推進	3	植栽、緑化の施工割合の増加の提案		
	既存の資源の活用	3	既存資源の再利用、有効利用の提案		
	地元生産の資源の活用	3	地元で生産された資源の優先利用の提案		
	効率的な工程の考案	3	効率的に業務ができる工程を提案		
地域貢献活動 (件)		6	ボランティアへの参加	随時	川村
その他	労働能率向上		3tダンプの更新	3月	藤浪
			資材置場の整備	4月	小長井
			★ICT、IoTの活用の検討	5月~	吉/遠
	人材育成		人材確保及び育成	11月~	吉/曲
		★定期的な教育訓練の実施	毎月	吉永	
情報発信			HP更新	毎月	吉永

★が付いているものは重点計画

# 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

確認日 令和2年8月31日

代表者	工事部	事務局

法規制等の名称	適用項目	手続き・遵守事項	確	認
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業許可	・5年毎の更新	○	H29.8月更新
	収集運搬及び処分業者との委託契約	・書面での適正な契約の締結 ・業者の許可内容の確認	○	適正
	マニフェストの交付・運用・保存	・交付状況の記録 ・管理票交付状況報告書の提出（静岡県） ・排出業者へ90日以内の返送 ・5年間の保存	○	適正
	投棄・焼却禁止	・不法投棄・焼却を行わない	○	適正
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物の運搬実績の報告	・収集運搬実績報告書の提出	○	R2.6/17提出
	委託先の処理状況の現地確認	・現地確認	○	R2.5/22実施
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体・再資源化等の実施	・書面での計画説明、報告 ・契約書へ費用等を明記	○	適正
騒音規制法	特定建設作業（杭打機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等）の実施の届出	・事前に市町村へ届け出	○	該当0件
振動規制法	特定建設作業（杭打機、鋼球、舗装版破砕機、ブレイカ等）の実施の届出	・事前に市町村へ届け出	○	該当0件
農薬取締法	無登録農薬の使用の禁止	・登録内容の確認	○	適正
	農薬使用基準の遵守	・農薬の有効期限の厳守 ・使用状況、保管状況の記録	○	適正
家電リサイクル法	家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）消費者としての役割	・引取業者への引渡し ・廃棄時にリサイクル料金等を負担	○	該当0件
自動車リサイクル法	自動車所有者としての役割	・引取業者への引渡し ・購入時にリサイクル料金を負担	○	該当1件
フロン排出抑制法	空調室外機のフロン漏洩点検	・簡易点検（四半期に一度）	○	室外機2台

上記法規制等について遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

過去3年にわたり、関係機関からの指導、利害関係者からの訴訟や苦情はありませんでした。

# 代表者による評価

個別評価	
環境経営目標の達成状況	全ての環境経営目標を達成することができた。
環境経営活動計画及び取組結果	適切に取り組んだ。
環境関連法規等の遵守状況	違反、訴訟等はなかった。
外部からの環境に関する苦情や要望	苦情、要望等はなかった。
実施体制	適切な体制がとれている。
訓練実施状況	計画通り実行された。
文書・記録管理状況	適切に管理できている。
前回の指示に対する取組結果	<p>【前回是正指示】 水使用量が例年増加しやすいため、全員が日頃から原因について考えること。</p> <p>【指示に対する取組結果】 冬季は資材置場の水使用量が増加しやすいため、こまめに使用状況を確認し合うようにした。今年は冬季の増加は見られなかったが、5月に漏水が発覚した。以前にも漏水が起きて使用量が増加してしまったので、定例会で検討した結果、今後は月一の使用量計測の際に、メーターが異常な動きをしていないか担当者が確認することにした。また、水使用量の基準値を第26期の実績にしていたが、今と使用頻度等が違うので、基準値を最新の第29期の実績に変更した。</p>

是正指示
取組みがマンネリ化してきている。数値として見れば悪くはないが、一人一人の環境意識が高いとは言えない。全員が常に意識を高く保てるような仕組みづくりが必要である。

全体評価
全ての項目で目標を達成することができたのはよかったが、取組みが惰性的で、環境経営のために取り組んでいるという意識がやや低いと感じる。社員は皆、仕事に大変真面目に取り組んでいるので、各々がそれと同じくらいの意識で環境経営についても取り組んでもらいたい。その仕組みづくり、環境づくりが今後の課題と考えている。現在当社の仕事は「造園」が大半をしめているが、いずれは「造園」と「環境」の二本柱になるくらいに真剣に環境経営、環境事業に取り組む、ひいては当社の活動が地域の自然環境の保全及び活用、そして建設業界の環境経営に大きく貢献できるものにしていきたい。

令和2年12月20日

株式会社藤浪造園  
代表取締役 藤浪義之